

村内で活動・活躍している団体を紹介します!

民話再生の会

平成13年、公民館事業「郷土再発見講座」で民話のビデオ作りがありました。その仲間が平成16年「民話再生の会」を立ち上げ、子どもから大人まで楽しく故郷を理解できる紙芝居作りを行い、第1話「おかめ笠ぬぎ田」から始まり現在29作目を制作中です。題材選びは主に昭和56年発行の『東海村のむかし話と伝説』です。この本には村の有志が古老から聞き取った話が200余話載っています。当初は紙芝居作りだけでしたが、年に一度の新作発表の場を設けたり、村の行事や学校、高齢者施設、笠間の陶炎祭等での上演の機会があったり、多くの人との交流も楽しんでいます。



【Data】

活動日時▼毎月第1・3・4木曜日の午後

活動場所▼中央公民館 会員数▼10人

連絡先▼代表 河本 紀久雄(☎283-1851)

その他▼全ての紙芝居は村立図書館にありますので、ご自由にご利用ください。

第68回「社会を明るくする運動」 作文コンテスト

茨城県教育長賞を受賞

第68回「社会を明るくする運動」作文コンテスト(小学生の部)で、茨城県教育長賞を受賞した村立舟川小学校6年生の箱崎渉太さんが、1月25日、村長へ報告に訪れました。

このコンテストは「社会を明るくする運動」茨城県推進委員会の啓発活動の一環として行われたもので、県内の小中学校から、計1万点を超える作品の応募がありました。箱崎さんの作品は「協力雇用主制度」をテーマに、罪を犯した人を受け入れる社会づくりの重要性について書かれていることが高く評価され、今回の受賞となりました。



「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

夢や信念を持ち、仲間と共に “自立への一歩”を踏み出す

平成30年度 立志式

2月1日、東海文化センターで平成30年度「東海村立志式」が開催されました。

今年度立志の年を迎えた村立東海中学校・東海南中学校の2年生(397人)は「Go for it all! ~拝啓 未来の私へ~」のテーマのもと、職場体験や文集作成に取り組んできました。集大成となる立志式では、自分たちのメッセージや全員合唱などを披露しました。また、講演会では東海中学校出身の齋藤紀明さん(株式会社リクルートスタッフィング情報サービス執行役員)から『「らしく」働くということ』の題で、これからの社会で働くことについて、最新の情報を交えたお話をいただきました。

実行委員長を務めた石田裕二郎さん(東海中)は「自分の道を自分で切り開きこれからの将来について考えていきたい。」と話していました。立志という節目の年を迎え、一歩大人へと近づいた2年生の皆さん。それぞれの夢や目標をかなえてください。

